

日本労働年鑑 第55集 1985年版

The Labour Year Book of Japan 1985

第二部 労働運動

VII 社会保障闘争

概要

一、八三年後半から八四年前半にかけて、第二臨調答申にもとづく、社会保障・福祉の見直しがすすめられたが、これに対応して福祉切りすて、社会保障後退反対闘争が取り組まれた。

一、社会保障充実を要求する、社会保障予算拡充闘争が取り組まれた。

一、医療保険制度の抜本的改革を内容とする、健康保険改革法案が第一〇一国会で可決成立した。同法案の構想、国会での審議に対応して、中央社保協、労働団体、医療関係団体、患者団体による反対闘争が展開された。

一、医療保障の分野では、沢内村に記念碑を建設する運動、キャラバン行進「子どもを守れ、おとしよりを守れ、沢内村と心をむすぶいのちの行進」がおこなわれた。また、「老人保健法一年後の実態を明らかにし、国民の医療とくらしを考えるつどい」が開催された。

一、国民医療・医療労働研究会は「国民の期待に応える看護体制確立のための緊急提言」を発表した。

一、老齢保障の分野では、国家公務員等共済年金統合法案に反対する闘争が取り組まれた。政府の公的年金制度改革案にたいし、総評、同盟、中立労連は意見・提言をおこなった。また、「各団体の年金政策をきく会」が開催された。

一、九・一五高齢者大集会在ひらかれ、同盟のゆたかな老後をつくる運動が取り組まれた。

一、障害者団体による、身体障害者福祉法改正への要求運動がおこなわれた。

日本労働年鑑 第55集 1985年版

発行 1984年12月15日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

2001年8月21日公開開始

■ ←前のページ 日本労働年鑑 1985年版(第55集)【目次】 次のページ → ■
日本労働年鑑【総合案内】

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)